

生月まち協 だより

第46号

令和3年2月15日発行



生月地区まちづくり
運営協議会

TEL/FAX 0950-29-9080



【生月小学校壁画製作下絵作成作業より（記事参照）】

お知らせ

先月号でお知らせした下記イベントについては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期または中止と致します。なにとぞご理解賜りますよう、よろしくお願い致します。

<令和3年3月7日（日）開催予定>

上場の杜植樹祭



中止

<令和3年3月14日（日）開催予定>

絶景の道ハイキング



延期

日程については改めてお知らせ致します。

まち協活動報告

ベルマーク寄贈



2月5日（金）まち協にて回収を呼びかけ集まった『ベルマーク』を生月小学校へ寄贈しました。わざわざ事務所までお持ちいただいた方々、お声をかけていただいた団体様、そしてこっそり回収箱へ投入された方、誠にありがとうございました！今回集まった合計点数は**1,669. 1点**でした。またテトラパック回収もご協力いただき、ベルマークと共に寄贈しました。今後も随時回収しておりますので、よろしくお願いします。



👉テトラパック回収箱

壁画製作活動中



1月29日（金）・2月5日（金）生月小学校にて生月漁港の防波堤へ描く壁画の下絵作成作業が行われました。この事業は生小PTAと生月漁協、そして生月まち協が協力して行っているものです。今回下絵のお手伝いに伺ってきました。6年生が集中して作業に取り組み、出来上がった下絵を組み合わせると自然と「おお〜」という歓声が上がりました。この下絵からどのような壁画が生まれるのか、今から楽しみです。また会報でもご紹介していきますのでご期待ください。

コラム

最近よく耳にする言葉に「スピード感をもって」というものがあります。最初聞いたときに頭に？マークが点灯しました。英語と日本語との造語でしょうが、調和しない感じがして少々違和感を抱いたからです。さしずめ日本語に直すなら「素早く」とか「迅速に」とか「可及的速やかに」といったところでしょうか。「素早く」や「迅速に」だったら広く使用されていますが「可及的速やかに」になるとどれくらいの頻度で登場しているかわかりません。

日本人は、古くから中国伝来の漢語を使ってきました。けれども、ある時期からカタカナやひらがななどの仮名文字を創出し、漢字と融合させて新しい日本語を作ってきました。その歴史を紐解くと英語と日本語の融合したのもありなのかなと思います。

何度も聞かされているうちに「スピード感」についても不思議とじっくりとできているのに気づかれています。

言葉は変化しながら古いものが忘れ去られ、新しいものを生み出しながら変遷していくものです。しかしながら、IT化が進む現代においては、その速度が昔より早くなってきているようです。昨年できた言葉が今年には消えているということが頻出しているように感じます。「スピード感」についてもすぐに忘れ去られるのか、どっこい生き残るかは未来の人たちの検証に委ねなければなりません。

さて、春の足音がしっかりと聞こえてきました。生き物たちが活動を活発にします。小生もその息吹を感じながら、仕事に「スピード感」をもって邁進しなければならないと思う今日この頃です。(学)

